

☆校歌熱唱

先日の放課後、外から大きな校歌が聞こえてきました。バスケットボール部の女子生徒が並んで、校庭に向かって校歌を歌っていたのでした。顧問の先生に聞いたところ、しっかりと声が出せるように練習の一環としてやっているとのことでした。

それにしても、大きな声でしっかりと歌えていたので見に行ってみると、明るい表情で気持ちよく歌っていました。音程もきちんと取れていて、良い歌声でした。南側の住宅に反響して、より一層パワフルな校歌になっていました。「全校生徒がこのパワーで歌ったら、さぞかし感動的な校歌斉唱になるだろうな」と思うような歌声でした。その光景を見ながら、ふと30年前のことを思い出しました。

私の初任校は桐生市の昭和中学校でした。(今は統廃合で中央中学校になっています)

当時のバスケットボール部の女子生徒が、練習の最後に良く校庭で校歌を歌っていました。本校生徒と同じように、みんな笑顔で気持ちよさそうに歌っていました。もちろん、とても大きな声が校庭に響き渡っていました。顧問の先生は「これが大事なんだよ」と言っていました。何が大事なのか詳しくは聞いたことはありません。

その生徒たちは、その年の総体で県優勝を飾りました。数年前に出張で中央中を訪れたときに、30年前の優勝記念の写真が飾ってあったのを見て、懐かしく思ったのを覚えています。

本校の校歌は「歌いやすくて良いメロディーだな」と思います。全校生徒の校歌を聞くのが、いつも楽しみです。また、大会の応援で歌っている姿も好きです。これからも楽しみにしています。



☆「話し合い」の良さ(その1)

配布物をそのままにしないために、気付いた人がどんどん声をかける。

一人一人が恥がしからず、発言できるようにする。

本校では学級会や授業の中で「話し合い」活動が良く行われています。例えば、「より良い学級にするには」とか「思いやりについて考えよう」など、それぞれテーマに沿って、様々な考えを出し合います。「自分自身でしっかりと意見を持つこと」「他人と自分との考えの違いを知ること」「みんなでより良い方向性を見つけ出すこと」等、「話し合い」をすることで考えが深まり、広がっていきます。

あるクラスにフラッと入ってみたら、そんな光景が目につかぶ掲示物がありました。自分たちで意見を出し合うとそこに責任も生まれます。「先生に言われたから」ではなく、「自分たちで決めた」という気持ちから、より一層

「しっかりやろう」という心構えができます。他のクラスでも様々な「話し合い」の内容が掲示されています。皆さんの成長がよく見えます。

☆「話し合い」の良さ（その2）

いつものように、あるクラスにフラッと入ってみると、学級通信が目にとまりました。

「クラスをより良くするために ～ 全員日直 ～」

「全員日直」という言葉に惹（ひ）かれて読んでみると、クラスの生徒の皆さんが真剣に話し合い、クラスをより良くするためのアイデアを一生懸命に考えている様子が目に浮かびました。以下がその内容です。



道徳、学活の授業で出された意見をもとに、「よりよいクラスにするには、何をどのようにすればよいのか」を、学級委員、生活委員が中心となって約一週間かけてじっくりと話し合ってきました。安易に多数決で決めても、後から不満が出てきて長続きしない可能性が高いと思ったからです。また、物事を決める時に、人任せでなく、一人一人が自分事として考え、色々な人の意見を聞いたうえで判断してほしいと思いました。

各班から出されたアイデアのうち、一番最初に取り組むものを『全員日直』にすることが決定しました。みんなで声をかけ合いながら仕事を分担することで、コミュニケーションがとれて、協力できるからという理由でした。しかし、「朝、学級日誌を誰も取りに行かないなど、仕事を失敗したらどうするのか。誰が責任を取るのか。」「全員日直を失敗したら、席替えをやらない。（席替えを遅らせる。）」「全員日直の失敗は何回まで許されるのか。」「席替えができなくならないように、3回までは失敗してもよい。」というように、だんだんと話し合いの方向が本来の目的とはずれていきました。

そんなときに、ある生徒がボソッと、「なんで失敗することが前提なの？」とつぶやきました。まさにその通りです。『失敗したらどうするか』ではなく、『成功させるにはどうしたらいいか』という視点で話し合うべきだったのです。意見を言う人も同じような人ばかりで、話し合い活動が暗礁に乗り上げてしまいました。そこで再度、全員日直をやる目的を確認し、学級委員からのアイデアで、みんなの前では意見が言えない人のために、紙に書いて提出してもらうことになりました。その結果、「ホワイトボードに日直の仕事内容をマグネットで貼り、その仕事をやった人がマグネットを動かして、名簿に○をつける。」という具体策が決定しました。

いよいよ全員日直が23日(木)からスタートし、先週の2日間は順調な滑り出しでした。このまま良い流れでいくことを願いますが、やっていくうちに問題点が出てくるはず。その都度、またみんなで改善策を考え、一つ一つ壁を乗り越えていきましょう。

「なんで失敗することが前提なの？」という「つぶやき」が素晴らしいですね。また、みんなが意見を出せるように紙に書いて出してもらった結果、より良い具体策も出ました。

「一人一人が真剣に考えた」ということ、「みんなで考えて、みんなで決めた」ということが、とても良いことだと思います。こういう話し合いの結果で決まったことは、きっと皆さんが大切にしてくれることでしょう。

最後に、私が「話し合い」で大事にしたいと思うことは、「自分の考えと違って真剣に聞く」ということです。

「誰もが自信を持って意見を言える」という雰囲気大切にしたいと思っています。

